

# 収穫を長く楽しむキュウリ栽培

春から栽培を始めたキュウリは、本格的に収穫が始まっている頃でしょうか。キュウリは株が弱ると、実付きが悪くなったり、曲がったりするなど実の状態が悪くなります。そこで、収穫を長く楽しむため、次の管理に心がけましょう。

- ・生育スピードが早いので、肥料切れと水不足を起こさないように管理しましょう。
- ・つるが旺盛に伸びるので、整枝や葉かきをして風通しを良くしましょう。
- ・株を疲れさせないように、早め早めに収穫していきましょう。
- ・敷きわらなどを株元に敷いて泥の跳ね返りによる病気の発生を防ぐとともに、ダコニール1000やZボルドーなどの予防剤を散布するのもよいでしょう。



## キュウリ収穫終了のサイン

- ・葉が黄色くなってきた
- ・果実の生る数が減ってきた
- ・形が悪くなってきた など

しかし、丁寧に管理しても、キュウリは調子を崩すことが多く、再び元気な状態に戻すのは難しいものです。そこで、時期をずらして別の場所に種をまいておき、「葉が黄色くなってきた」などのキュウリ収穫終了のサインが見られたら株を更新して収穫することで、タイムロスがなく、おいしいキュウリを長く収穫することができます。

## ずらしまき栽培

○播種時期・・・5月～7月頃

○栽培方法・・・直まき栽培または育苗栽培のいずれかを選択します。

[直まき栽培] 株間40cm程度に3粒まきし、本葉3～4枚までに1本にします。

[育苗栽培] 3号ポットに3粒まきし、本葉1枚の頃に1本にします。本葉が3～4枚の苗に仕上げ、植え付けます。

○品種の選び方・・・どの品種でもずらしまきは可能ですが、暑い時期に栽培するため、「耐暑性」や「耐病性」の表記のある品種がオススメです。

○病気に感染したキュウリの隣にまくと、新しい株にも感染しやすいため、少し離れた場所にまくと良いでしょう。

峡南農務事務所 農業農村支援課  
(峡南地域普及センター) 生産振興担当

055-240-4131